



バスケットボール

No. 31

平成30年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技

試合日	2018年8月3日(金)
開始時刻	11:40
会場	ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)

県立能代工業	87	61	前橋育英
--------	----	----	------

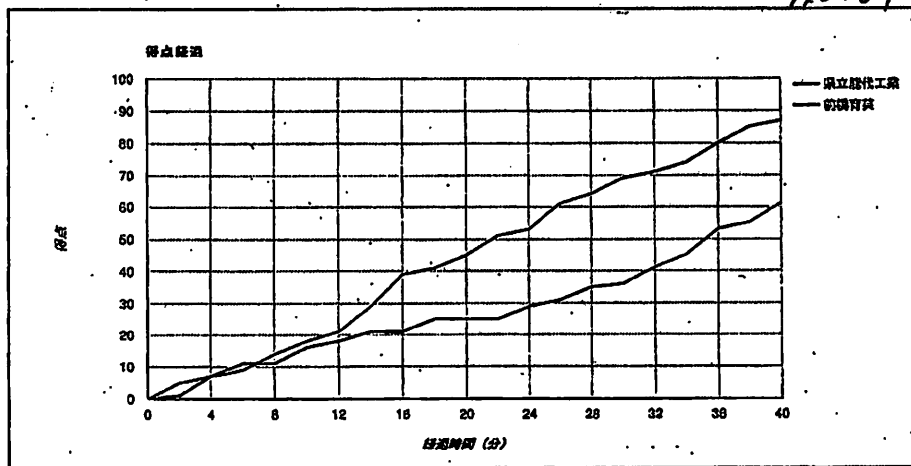
県立能代工業

No.	選手名	GS	PTS	2P		DK	FT		REB		AST	STL	BLK	TO	PF	TP	FO	MIN			
				MA	%		MA	%	OR	DR									TOT		
4	渡辺 貴大	●	2	0-0	0	1-1	100	0	0-0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	13:12	
5	新田 由直	●	23	0-0	0	11-19	57	0	1-2	50	8	9	17	2	0	3	2	1	0	24:59	
6	佐野 昂	●	9	0-0	0	4-9	44	0	1-3	33	3	3	6	1	0	0	2	1	0	15:45	
7	藤原 創	●	10	0-0	0	5-9	62	0	0-1	0	1	3	4	3	2	0	1	3	0	17:26	
8	高橋 日向	●	2	0-1	0	0-1	0	0	2-4	50	0	3	3	4	0	0	0	1	0	19:42	
9	佐藤 優	●	4	0-5	0	2-4	50	0	0-0	0	0	3	3	3	0	0	0	1	0	19:11	
10	伏元 輝之介	●	7	0-0	0	3-8	37	0	1-2	50	1	3	4	2	0	0	0	0	0	13:30	
11	原 康雄	●	7	1-4	25	2-2	100	0	0-0	0	0	1	1	1	2	0	0	1	0	23:07	
12	伊藤 真	●	8	0-1	0	3-4	75	0	2-3	66	1	2	3	2	0	0	2	3	0	17:35	
13	中山 玄巳	●	2	0-1	0	1-2	50	0	0-0	0	1	1	2	1	2	0	0	1	0	12:29	
14	松本 駿汰	●	11	3-6	50	1-1	100	0	0-0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	0	14:24	
15	山田 健向	●	2	0-0	0	1-5	20	0	0-0	0	1	0	1	0	0	2	2	1	0	8:09	
TeamCoaches		●	0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	5	3	8	0	0	0	1	0	0	DNP	
TOTALS		●	87	4-18	22	34-64	53	0	7-15	46	21	31	52	20	9	6	14	17	0	0	159:29

前橋育英

No.	選手名	GS	PTS	2P		DK	FT		REB		AST	STL	BLK	TO	PF	TP	FO	MIN			
				MA	%		MA	%	OR	DR									TOT		
4	近藤 虎ノ介	●	3	1-6	16	0-7	0	0	0-0	0	6	6	6	0	0	6	0	0	34:45		
5	飯塚 優斗	●	11	0-0	0	5-5	100	0	1-1	100	2	2	4	0	0	0	4	0	21:44		
6	土田 昇平	●	8	0-1	0	3-7	42	0	2-4	50	0	1	1	0	0	3	2	0	26:56		
7	入野 隆	●	4	0-0	0	2-2	100	0	0-0	0	2	5	7	1	0	0	0	1	0	25:56	
8	村上 賢	●	3	0-0	0	2-2	50	0	1-2	50	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5:00	
9	鈴木 海都	●	2	0-2	0	1-2	50	0	0-0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	13:33	
10	高橋 聖太郎	●	8	2-2	100	1-2	50	0	0-0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	13:20	
11	野本 康雄	●	11	0-5	0	3-11	27	0	5-6	83	1	3	4	3	0	0	4	2	0	28:24	
12	近藤 海輝	●	2	0-0	0	0-2	0	0	2-2	100	2	4	6	0	0	0	3	2	0	14:04	
13	田中 真直	●	9	0-0	0	4-6	66	0	1-4	25	2	4	6	0	1	0	2	1	0	18:16	
14	石川 昂	●	0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP	
15	日本 健太郎	●	0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP	
TeamCoaches		●	0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	3	2	5	0	0	0	3	0	0	DNP	
TOTALS		●	61	3-16	18	20-46	43	0	12-19	63	12	28	40	12	1	0	23	15	0	0	200:00

※:背番号 PTS:得点 AVG:1試合平均得点 N:成功数 A:試投数 %:成功率 2P:2ポイントシュート 3P:3ポイントシュート DK:ダンク FT:フリースロー RDT:リバウンド OR:オフェンスリバウンド DR:ディフェンスリバウンド TOT:合計 AST:アシスト STL:スティール BLK:ブロックショット TO:ターンオーバー PF:パーソナルファウル OR:ドリフトパス フォワード アウェイ フロム・ダ・ブレイ:フール、フレイグランドフール、バンキングフールの合計 TP:テクニカル・ファウル FO:ファールイン DQ:退場回数 MIN:試合出場時間



戦評

第1P 両チームともにハーフコートマンツーマンからスタート。前橋育英は、3Pライン周辺でハイビック・フリースクリーンなどを効果的に展開し、#6#11のドライブ・ジャンプシュートで攻める。能代工業は、カッティングにスクリーンを絡ませディフェンスを崩し攻める。序盤は、お互いの厳しいディフェンスで得点を取ることが出来ない。しかし、残り4分30秒に前橋育英のチームファウルがたまる。能代工業のオフェンスが勢いを増す。勝負に得点を重ね得点が離れ始めると前橋育英がタイムアウトを要求。タイムアウト後は、落ち着きを取り戻した前橋育英が得点を重ね16-18の2点ビハインドで第2Pにつなげた。

第2P 開始早々#6のドライブで同点に追いついた前橋育英であったが、能代工業は#11の3Pシュートでふたたびリードを奪うと厳しいディフェンスから強い攻めで連続して得点を重ねる。逆攻から、鮮やかなアリウープで得点すると25-18とし前橋育英はたまたタイムアウトをとる。しかし、能代工業の勢いは止まらない。オールコートでディフェンスを仕掛けると、これが契機にはまり着流に得点をつなげ、第2P終了時には、45-25と20点差のリードで前半を終えた。

第3P 能代工業の勢いは止まらない、粘り強さと持ち前のハードワークで連続して得点すると、前橋育英はタイムアウトで修正を図る。#5#7の連続得点で反撃を試みるが、能代工業の#5の落ち着いたインサイドブレイに加え、獲入ることのないディフェンスで、69-36とさらにリードを伸ばし第3Pを終了した。

第4P 前橋育英は#10の3Pシュート#13のインサイドブレイで得点を重ねるなど、最後まで勝負を諦めない献身的なブレイを見せる。リズムを取り戻し#10が3Pシュートを決め76-48とすると、残り5分30秒で能代工業がタイムアウトを要求する。ここから、お互いの良いブレイが見られ得点の入れ合いになる。87-61と能代工業が勝利したが、前橋育英の最後まで集中力を切らさない果敢な姿が、試合を引き締め見込のある試合となった。

文責:堀 洋喜

主催	田中 真	副審	近藤 賢
副審		副審	
スコアラー	名古屋西高等学校	スコア担当者	